

東京下町で遊ぼう

青葉台から東京の下町、柴又まで行ってみよう！帰りは浅草で「ひとやすみ」コースです。

青葉台→柴又	
1時間42分、片道750円	
青葉台	
↓東急田園都市線急行	(5駅、26分)
渋谷	
↓営団半蔵門線	(6駅、15分)
大手町	
↓営団東西線	(2分)
日本橋	
↓都営浅草線	(6駅、11分)
押上	
↓京成本線急行	(3駅、10分)
京成高砂	
↓京成金町線	(2分)
柴又	



私、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯をつかい、姓は車、名は寅次郎、人呼んで、フーテンの寅と発します。映画「男はつらいよ」でおなじみ「寅さん」のふるさと、柴又帝釈天(しばまたたいしゃくてん)「題経寺(だいきょうじ)」です。帝釈堂、祖師堂、二天門には、多くの木彫りによる十二支や法華経説話の建築浮彫装飾が施されており、回廊式の庭園とともに、一見の価値十分です。帝釈天参道の名物は、草団子、塩せんべい、くずもち、佃煮などです。寅さんの実家「くるまや」のモデルは、参道入り口付近の高木屋さんで、団子、おでん、ところてん、赤飯などで、軽く一杯も下町の情緒タップリというところ。帝釈天境内には、人力車のサービス(無料)などもあります。

映画「男はつらいよ」の世界をくまなく紹介する寅さん記念館によろこそ。館内には、「柴又帝釈天参道」や「くるまや」の撮影スタジオのセット、寅さんシリーズをささえたスタッフ紹介、歴代マドンナのプロフィール、全48作のポスター、衣装、台本など、寅さんファンには嬉しいコーナーばかりです。

上下左右、余白20ミリ、タイトル:ワードアート(HGP行書体)、本文フォント:MSPゴシック
地図部分の文字はすべてワードアートで作る。地図をグループ化してから、左に表を作る。

東京下町で遊ぼう

上下左右、余白 20 ミリ、タイトル:ワードアート(HGP 行書体)
本文フォント:MSP ゴシック

(解説)

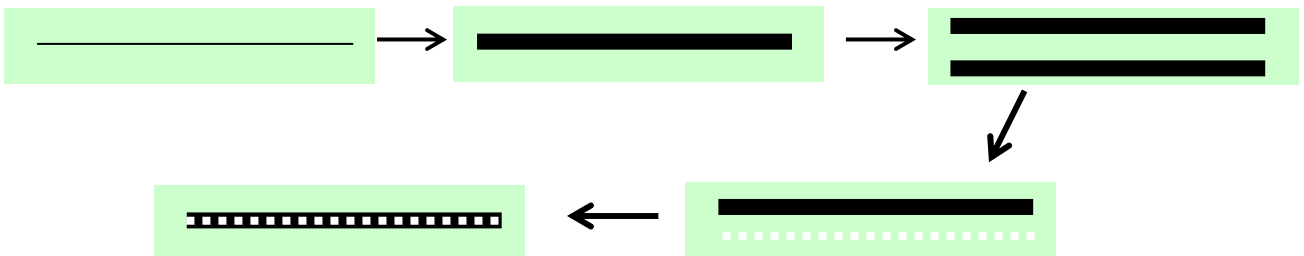
1. タイトルはワードアートで作成します。中央に配置したら、「オートシェイプ」－「基本図形」－「角丸四角形」を選択して、“東”の上に作成します。
角丸四角形に色をつけたら、「Ctrl」と「Shift」を押しながら右に移動します。“京”“下”“町”の上にそれぞれ作成し、色を変更します。
4つを選択し、「図形の調整」－「順序」から背面をクリックします。



2. 地図はオートシェイプの「四角形」と「線」を使用して作成します。川などの太い部分は、線の太さを太くします。
文字は、ワードアートで一つ作成したらその文字をコピーして「テキストの編集」から文字を変更します。(ポイント:文字を変更した際に、文字サイズを再度選びます。)

3. 線路の作成

- 線を作成したら太さを「6 P」にして、コピーします。コピーした線の太さ「4.5P」、線の種類「破線」色を「白」に設定します。
コピーした線を本の線の上に重ねたら完成です。



地図は完成したらグループ化します。

4. 1列14行の表を作成して、文字を入力します。
5. 文章を入力したら、「私」をマウスで選択して「書式」－「ドロップキャップ」を設定します。

位置「本文内に表示」
ドロップする行数「2」

